

た、これは同町立幼稚園の園児が兒童保護宣傳の爲め同園で作つた宣傳歌を歌つて勇ましく行列をいたしたのでした、白いエプロン太郎君、赤いリボンの花子さん達百數十人が、保姆に引率せられて、可愛い口で歌ふ一方、紅葉のやうな手に手を携へた宣傳ピラを蝶のやうに撒きちらして道行く人の足を止めたのは勿論の事、奥座敷に賢まつて御座つた御隠居さまや、裏庭で御掃除に忙しかつたお竹どんまで誘ひ出して『マア可愛いこと』と賞讃の辭をいひ合せたやうに發せしめました。

## 宣傳歌

一 數ある寶のその中で 持つべきものは子寶よ  
おなじ持つならよい子供 ほしいといふが親心

二 おんなし様に授かつた 玉のやうな赤ん坊も  
育てしつけの善惡で 玉ごもなれば瓦ごも

三 三ツ兒の魂百までも 初めてついた其癖が  
一生一代身について 出世もすれば身もおとす

## 四

宅に澤山よい兒が出来て 家の榮えは御國の繁昌  
忘れてならぬ兒のしつけ ぬかつてならぬ兒の育て  
名古屋市では皇風幼稚園から次頁の様な宣傳ピラ  
をお送り下さいました。別にくほしいお報告はござ  
いませんが、これを汎くお配付になつた事と存じて  
おります。

編輯室より

○今回の兒童保護宣傳の催しは諸方面によい影響を興へたように思はれます。其後わざわざ協會本部を御訪問下さつて熱心に會の事業を援助したき旨を申し込まれた方も二三ございました。微力な本會の事業も時代の要求と皆様の同情によつて、今後著しき發展に向ひ、社會のためにいよく貢獻する所多からん事を願つて居ります。

○全國に多くの會員を有する本誌は少しでも皆様の御期待にそむかない様にと努めて居ります。各地からのその折々の御通信をお待ち申します。この誌を通じて、お互の近況を知ることが出来ますれば幸と存じます。